

東日本大震災 関連情報（第 19 報）

平成 23 年 8 月 8 日
全国老人クラブ連合会

●東日本大震災に関する、老人クラブ関連の情報をお伝えします

1. 震災後、初めての市老連理事会開催 [宮城県石巻市老連]

石巻市老連では、7月29日に震災後初めてとなる理事会を開催しました。例年会場としている中心部にある社協がまだ無理なため、地区公民館での開催です。

理事24名が集まり、再会を喜び合いました。当日は、全国からの救援拠金の配分、元気袋の配布について協議しました。未だ7支部のうち5支部の会員の掌握が出来ず、これからの課題です。

「元気袋は、すでに一部地区の行事で、市老連からも言葉を添えて渡しています。受け取られた会員の方々はただただ感動の表現で、いただいた人だけに理解できる元気袋の重さを一人ひとりが感じていたこと、忘れられません。」（遠藤謙治会長）

2. ひとつひとつのクラブを訪ねています [仙台市老連 橋本典子会長]

7月20日に、被災して会員が散り散りになったクラブの会合に出席しました。300世帯のうち、地域にはわずかに6世帯しか残っていません。他の会員は、避難している市内の他地区や塩釜市から集まってきました。息子や夫を亡くした方々の集まりです。みな下を向いたり、ちょっとしたことで涙をみせたり。「まず、生きよう」と声をかけました。会合には皆さまからいただいた元気袋を持っていき、喜ばれました。

これからは各地域で転居した高齢者を支えることと、“心のケア”が必要になると感じています。

●支援活動

- 元気袋の記事紹介（新聞記事添付） [奈良県老連]

●救援拠金活動

- ブラジル日系老連から救援拠金が届きました

日本から移民した日系人により結成されているブラジル日系老人クラブ連合会より、下記のお見舞いの言葉とともに、救援拠金2,110,902円が8月4日に届きましたので報告します。

お見舞い

このたびの東北地方太平洋沖地震災害では、全老連傘下の当該地域各クラブ会員の皆様には、はかり知れぬ災害を被られたことに対し、心からのお見舞いを申し上げます。また、犠牲となりお亡くなりになられた方々のご冥福を幾重にもお祈りいたします。

私共、何分遠隔の地にあつて何のお手伝いとして適わぬことではありますが、せめてもの志として当連合会各クラブ会員より集めました義援金、誠に僅かでございますが、取り急ぎ送金申し上げます。救援と復興へのご活動の一部にお使いいただければ幸いに存じます。

2011年4月8日

ブラジル日系老人クラブ連合会
会長 五十嵐 司

●「阪神・淡路大震災—老人クラブの活動記録集」から

「被災地と交流する友愛活動」について、続きの2頁を紹介します。
(今回で最後です。)